

第68回国民体育大会（東京）選手選考基準

1. 参加基準

・選手団

監督2名、選手29名（男子19名以内、女子19名以内）

・参加制限、資格

- 1) 監督・選手は日本陸上競技連盟登録者であること。ただし監督はJAAFコーチ・ジュニアコーチの資格を有するものとする。
- 2) 予選会の当該種目に出場しなかった種目には、出場できない。ただし、1種の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の種目であっても参加していれば出場できる。
- 3) 1種目1名 1人2種目まで、リレーは除く
- 4) ふるさと選手制度における競技者の参加を認める。

2. 選考競技会

- ・国体強化記録会（成年・少年A・少年B・少年共通）
- ・第68回宮城県陸上競技選手権大会（(成年・少年A・少年B・少年共通)
- ・第68回国民体育大会少年B予選会（少年B）

3. 予選会

- ・第68回宮城県陸上競技選手権大会
- ・春季陸上競技大会（国体予選）
- ・国体強化記録会
- ・宮城県中学校総合体育大会陸上競技大会
- ・宮城県中学校通信陸上競技大会
- ・宮城県高等学校総合体育大会陸上競技大会

4. 参考競技会

- ・日本陸上競技選手権大会
- ・全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
- ・全国中学校陸上競技大会
- ・東北高等学陸上競技大会
- ・東北中学校陸上競技大会

5. 選考基準（優先順位）

- 1) 世界選手権大会・アジア選手権大会・ユニバーシアード大会・世界ユース東アジア大会等の日本代表選手トップアスリートの国体参加資格の特別措置〔※1 後日、日本陸連決定〕対象となる競技者は、選考競技会が免除され内定とする。
- 2) 国体標準記録を突破し、選考競技会において該当種目の種別最上位となった競技者を内定とする。
- 3) リレーに出場する競技者（リレーの特性により考慮する）
- 4) 選考競技会・予選会・参考競技会の結果により、強化委員会で審議し推薦する

※1。日本代表選手トップアスリートの国体参加資格の特別措置

JOC トップアスリートプログラム強化指定選手、国内ランキング上位 10 位以内の選手、日本陸上競技連盟強化指定選手については、国民体育大会参加特別措置として、予選会の免除などの特例がある。対象となる選手については、5月末日までに日本陸上競技連盟より通知される。

6. 標準記録（別紙）

7. その他

1) 故障などのため、本大会で競技力が発揮できないような事態が生じた場合は代表選手を取り消す場合がある。

2) 決定選手は、原則として合宿・練習会に参加すること。

3) ふるさと選手制度

成年種別に出場する選手は、卒業中学又は卒業高校のいずれの所在地が所属する都道府県から、出場することが出来る。原則として1回につき2年以上連続とし、回数は2回までとする。

ふるさと選手については、年度ごと毎年、登録手続きをしなくてはならない。《登録は県選手権の際に行う》

4) 競技について

◆ 成年女子 10000mW. 走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。

◆ 少年男子A 砲丸投 6.0 kg

◆ 少年男子共通 円盤投 1.75 kg

◆ 少年男子B (110mH) 0.99 / 9.14m

(砲丸投) 5.0 kg

◆ 少年女子A ハンマー投げ 4.0kg

◆ 少年女子B (110mH) 0.762/ 8.5m

◆ 少年女子共通 (砲丸投) 4.0kg

取り合わせ先

宮城陸上競技協会

事務局 TEL/FAX 022-767-2194

強化委員会